



小林 立栄 議員

一括質問方式

その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症への対応について

子育て支援・就学前教育の充実を 市長：関係団体と連携して きめ細かい対応を進める

問……………

幼児教育・保育施設職員のスキルアップ支援、手当（給料）の上乗せ、就職準備金等、処遇改善の充実で人材確保の後押しを。

問……………

業務負担の軽減にICTを活用しては。答（市長）……………事務処理時間が短縮され、今まで以上に保育に専念できることが期待される。システム導入による効率化を推進する。

問……………

多様な幼児教育・保育ニーズへの対応等、情報の提供や研修など自己研鑽の創出を進めスキルアップを支援する。また「遠野市奨学金返還支援補助金」を創設し、さらに法人独自で補助を上乗せして努めている。市内保育所等への就業を促すため、県内大学等の訪問も検討している。

問……………

答（市長）……………

問……………

答（市長）……………

持続可能な社会を目指すエネルギー対策を 市長：課題に向き合い環境と調和した推進を図る

問……………

省エネルギー対策として、マイバック・マイボトルの普及啓発等、脱プラスチックの取り組みの推進を。

問……………

新エネルギービジョンの今後の見通しは。

問……………

水素エネルギーの利活用に取り組むべき。

問……………

答（市長）……………

問……………

展開が期待される新たなエネルギーであり、国や県の動向を注視していく。

問……………

答（市長）……………まずは行政として会議でのペットボトルの廃止、マイボトルの持ち参りについて普及啓発に取組み、※給水スポットの設置については、公共施設から取り組みを検討する。

問……………

答（市長）……………エネルギー消費量に占める新エネルギーの導入率は13・9%（令和元年9月末時点）であり、2025年までに目標（30%以上）は達成する見込みである。景観資源の保全や災害の未然防止等、環境と調和した推進を図っていく。

問……………

※給水スポットとはマイボトル（水筒）を持参した市民等が、給水できる場所

エコロ

岩手県3R推進キャラクター



気候変動・環境問題は「自分ごと」。取り組みやすい環境づくりが大事。

第二次遠野わらすっこプランの特徴は 市長：時代の流れに沿った 支援を総合力で取り組む決意

問……………

新わらすっこプランの強化ポイントは。

問……………

答（市長）……………親が一番直面するのは進学費用ではないか。それらも含め独自の支援施策が必要では。

問……………

答（市長）……………「子どもの貧困対策計画」と「ひとり親家庭等自立促進計画」を新たに定めた。時代の流れに沿った、子どもと子育て支援を進めていかなければならない決意である。

問……………

答（市長）……………市の奨学金制度、また、奨学金返済助成がある。関連する部署と見直しや検討をすすめていく。



公益財団法人 21世紀職業財団 HPより

子どもの権利と安心安全を守る親は どのように守られ支援を受けられるのか 市長…子育て環境づくりに 総合力で取り組む

問……………

子どもを理由とした休みが取りづらい。働きながら子どもを育てやすい環境の見解は。

問……………

答（市長）……………職場の理解が必要と考え、妊娠出産を含め、

問……………

親はどのように守られるのか。子育て世代へのハラスメントについて見解は。

問……………

答（市長）……………庁舎職員も、共働き割合が多い。今般の全国一斉休校の中、市民行政サービスを維持しながら、職員間で子育てに心配りをした対応を呼びかけた。わらすっこ条例を約束事として、三本柱で取り組んできた自信もある。官民それぞれの立場で、子育て環境づくりに総合力で取り組んでいきたい。



佐々木 恵美子 議員

一問一答方式